



金田 勝年氏 (衆院比例東北・自民)

# 将来の全体像見えず

衆院予算委の議論でも

出たように、民主党は最低保障年金や年金一元化、後期高齢者医療制度廃止を掲げながら、実現するには消費税率を20%にしなければならぬという説明をせずに先送りしている。増大する生活保護費や介護費への対応も明確ではない。

④「ばらまき」ではな

## 「一体改革」への視点

本県国会議員に聞く

気対策ともなる国土強靱化基本法案と共に民主党の対応を注視したい。

将来の社会保障は「高福祉―高負担」「中福祉―中負担」など、給付と負担の具体的パターンを

幾つか示し国民に選択してもらったことが大切だ。

⑤ 政権担当能力がな

く、政権交代時の期待が落胆へ変わっている。野党に抱きつく手法には閉口するが、支えなければ日本が危ないので修正協議に応じた。こんな政権をつくった責任は自民党にもあると、反省している。(聞き手＝赤石昌之)

①現時点で(政府案に)賛成はできない。

②将来の社会保障の全体像が示されていないので「一体改革」とは言えない。民主党は公約になっている増税に前のめりになっている。景気回復も増税の条件になっておらず、経済対策に取り組む姿も見えてこない。また、公

約の誤りを認めず撤回もしない。そんな公約を実現させるための増税は、国民にお願いできない。

③増税を決めた場合、逆進性対策は重要。所得把握、手続きコスト、公平性の観点から軽減税率適用を検討しなければ。

く、自立を基本に共助と連帯の精神で助け合い、公助をバランスよく組み合わせなければならぬ。

### 【質問】

- ① 増税への賛否
- ② 賛否の理由
- ③ 逆進性対策など課題への対応
- ④ 在るべき社会保障の姿
- ⑤ 野田政権の「一体改革」の取り組みへの評価